

防災ヘルプサービス

株式会社パソナ



災害時に、高齢や障害などの理由で自力での避難(自助)が困難な方と、地域の自主防災組織などの支援者を、システム上でマッチングさせるサービス。

サービスビジョン

情報通信技術を活用し、1人でも多く、災害弱者の逃げ遅れを防ぐ。
人と人を繋ぎ、迅速な支援が可能な共助体制を構築する。



避難行動要支援者



電話またはアプリでHELP



マッチング

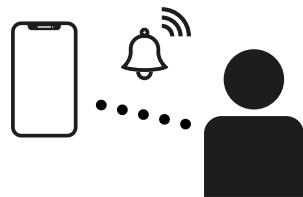


避難サポートに向かう



移動サポーター

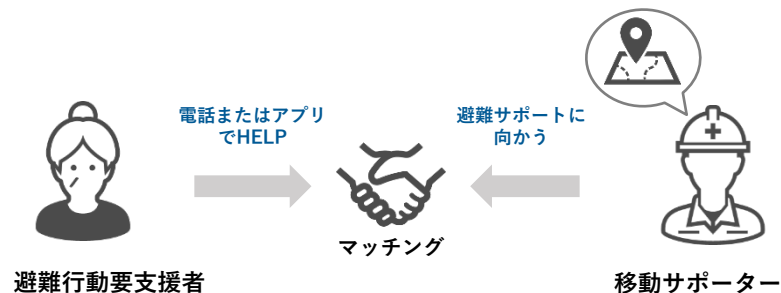
防災情報機能（主に平常時活用可能）



- ・ハザードマップの確認
- ・防災情報の受信
- ・避難所の状況をリアルタイムに確認
- ・臨時避難所の設定と情報の確認

- ・電話による防災情報の配信
- ・特定施設に対する緊急時共助システム

マッチング機能（緊急時活用）



- ・避難行動要支援者の事前名簿登録（身内代理登録可）
- ・緊急時のコール・通知・マッチング

※詳細は12ページ以降をご覧ください。

防災ヘルプサービス

防災情報機能

機能概要

- ・ 避難支援マッチング
- ・ 避難状況可視化
- ・ 個別避難計画のオンライン化

- ・ 情報発信・受信(電話利用者)
- ・ 特定施設向け避難支援 など

- ・ 情報発信・受信(アプリ利用者)
- ・ 避難所リアルタイム可視化
- ・ 防災マップ確認 など

利用対象

- ・ 避難行動要支援者
- ・ 避難支援者
- ・ 自治体

- ・ 避難行動要支援者
- ・ 施設管理者
- ・ 自治体

- ・ 全ユーザー
- ・ 自治体

マッチング機能（緊急時活用）

避難行動要支援者 (要支援者)

要サポートの高齢者・障がい者等



災害発生！
避難指示！

・電話や携帯アプリ上で避難支援を申請



・支援可能な移動サポーターがアプリ上で
マッチングし要支援者の元へ
・避難行動要支援者と合流し避難所まで
移動支援を実施

移動サポーター

地域の自主防災組織等



管理者

行政
自治体



要支援者・移動サポーターの位置情報や避難状況の把握など全体統轄

- 避難行動要支援者と地域の人を結び付けるマッチング共助システム
- 名簿管理をデジタル化することで本人や親族が常に最新情報に更新可能
- 防災意識向上と避難しやすい環境づくり



避難行動要支援者

要サポートの高齢者・障がい者等



①電話またはアプリでHELP

②「避難行動要支援」者の位置がアプリ内の地図にUP

⑤サポーターを確認

③避難行動要支援者の位置と情報がスマホアプリに通知される

<避難サポート要請>

豊田市西町3丁目●●
田中さん
70代女性（一人暮らし）
介護認定2
移動に車椅子が必要
090-XXXX-XXXX

■ 避難援助コメント

例：車椅子で階段を上がる力を必要としています。

避難サポートに向かう



④ 避難サポートに向かう(サポート意思表示)

⑥ 合流

行政・自治体



「要支援者」の位置情報把握
=避難情報把握

まちづくり・公助支援に活用できれば、市民の安全を効率よく守ることに繋がる。
=行政の付加価値の向上

移動サポーター



⑦避難行動要支援者と合流後、地図に設定されている近くの避難場所まで移動支援
=サポート完了

要支援者・移動サポーターの位置情報や避難状況の把握

防災 HELP

平常 緊急

ログアウト

地図 航空写真

避難レベル：平常

避難所情報
※枠内で密状況可視化

青枠：空
黄枠：中
赤枠：過密

要支援者情報

名前：パソナ 太郎
住所：愛知県豊田市
大島町豊52
電話番号：090-XX-XX
必要支援人数：1人
参加支援者：0人

要支援者情報なし（平常時）



救助要請あり

（緊急時）

救助要請した要避難者情報が表出（赤）



赤ピン
クリック

「サポートへ向かう」の案内



要支援者のステータス確認

避難サポート要請
要救助者が近くにいます

サポートへ向かう

名前
松本

住所
愛知県豊田市大島町豊2

電話番号
090-00-00

必要支援人数
1人

参加支援者人数
0人

補足情報

サポート
へ向かう

サポートに向かう人数選択

支援人数
1 人

補足情報

完了

サポートへ向かう

名前
松本

住所

人数選択
完了

サポート
意思表示

サポート急行中（黄）にステータス変更

サポート急行中
支援に向かってください

サポート到着

追加支援依頼

キャンセル

名前
松本

避難中（緑）にステータス変更

サポート完了（青）にステータス変更

サポート到着
要支援者と合流
して避難開始



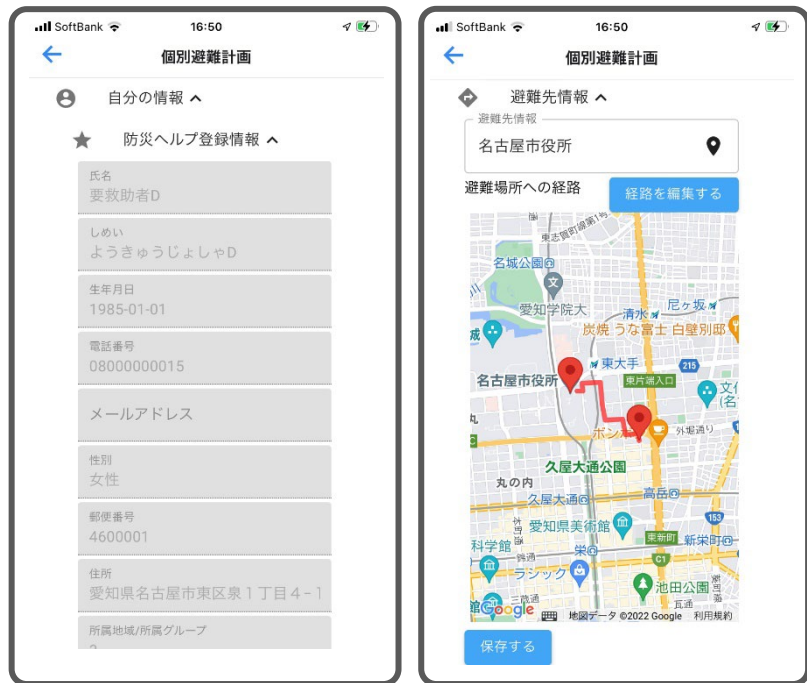
避難完了

※スマートフォンのGPSから避難状況が可視化できる



個別避難計画のオンライン化 (主に平常時活用)

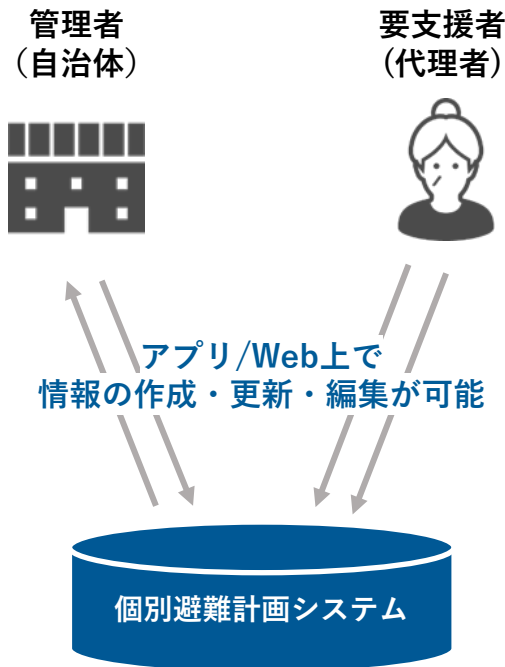
個別避難計画に必要な情報をシステム上に登録いただくことで、個別避難計画をオンラインで作成することが可能です。



アプリ上での作成画面(一部抜粋)

編集可能な情報

- ・メールアドレス
 - ・利用している医療機関
 - ・緊急連絡先
 - ・避難先情報
 - ・避難ルート
 - ・支援者情報 など
- ※支援者は個人でもグループでも設定可能



管理者（自治体担当者）は個別避難計画の作成状況を一覧で確認することが可能

← 防災マップへ戻る

EXCEL出力

EXCEL入力

防災ヘルプサービス データ管理

要支援者 サポーター 避難所 管理者

EXCELテンプレートをダウンロード

検索 新規追加

<input type="checkbox"/>	要支援者ID	氏名	電話番号	住所	必要サポ...	介護状況	身体状況	補足情報	編集	削除
<input type="checkbox"/>	11	要救助者杉山		愛知県名古屋...	1	0			編集	X
<input type="checkbox"/>	12	介護施設A		愛知県名古屋...	5	1			編集	X
<input type="checkbox"/>	13	要救助者B		愛知県名古屋...	2	0			編集	X
<input type="checkbox"/>	14	要救助者C		愛知県名古屋...	1	0			編集	X
<input type="checkbox"/>	15	要救助者D		愛知県名古屋...	1	0			編集	X
<input type="checkbox"/>	16	介護施設B		愛知県名古屋...	5	0			編集	X
<input type="checkbox"/>	17	要支援者水野		愛知県名古屋...	1				編集	X
<input type="checkbox"/>	27	デモ要支援者		愛知県名古屋...	1				編集	X

Rows per page: 10 1-8 of 8 |< < > >|

管理者



作成状況を一覧で確認・
編集ができるなど、
データを帳票出力することも可能

※管理者のデータ管理画面(抜粋)

パソナの「個別避難計画オンラインシステム」の3つの特長

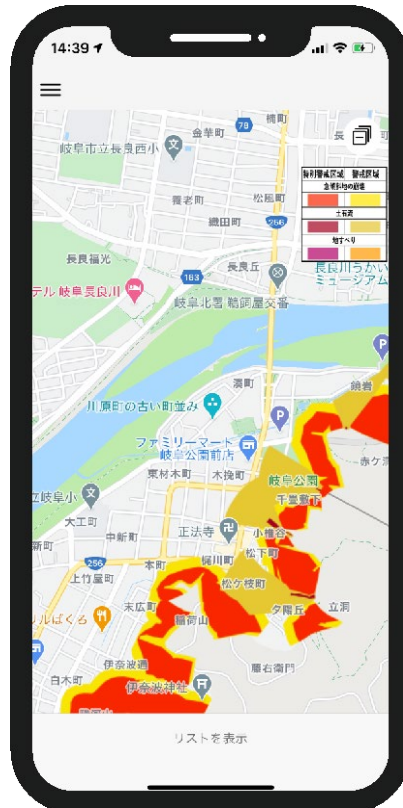
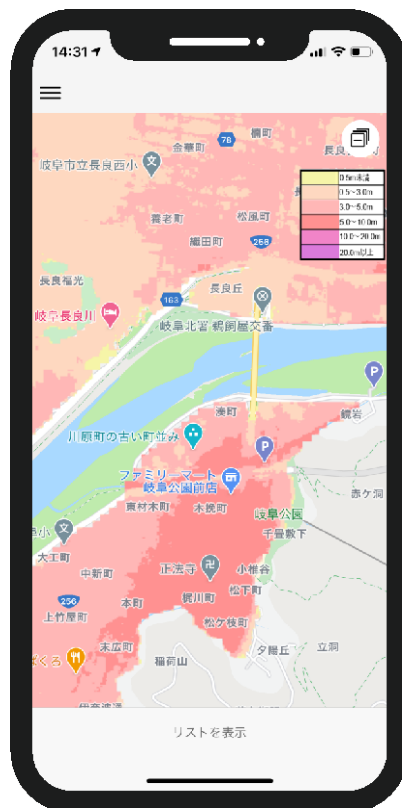
一人一人が自分のために更新することで、
自助の意識の醸成と**自治体職員の作業負担が軽減**できる

登録項目は、網羅的に用意しているが、
自治体フォーマットに沿って**項目の削除・追加設定**ができる

要支援者の管理もできるため、**既存の名簿システムが不要**
もしくは今あるシステムとのデータ連携が柔軟に行える設計

防災情報機能 (主に平常時活用可能)

※機能を制限して利用も可能



アプリのマップ上で ハザードマップの確認が出来る

- ・情報が常に最新版に更新される
- ・自分の家の場所、避難所の場所、今いる場所などの情報確認が出来る
- ・浸水情報だけでなく土砂災害マップなどの切り替えも容易

行政・自治体



災害時

- GPS情報、登録地域などから地域を限定した通知発信
(例) ○○川流域は増水が予想されています。明るうちに避難準備をしましょう…
- 避難所開設情報の通知
(例) XX公民館の避難所が設営されました…

日常

- 日常時の防災情報の配信
(例) 防災グッズとして、水、保存食を準備しておきましょう…
- 防災予報の配信
(例) 週末に台風の接近が予想されています。金曜日までに避難準備を…
- 防災訓練情報
(例) 10/10に○○地区にて避難訓練が予定されています…

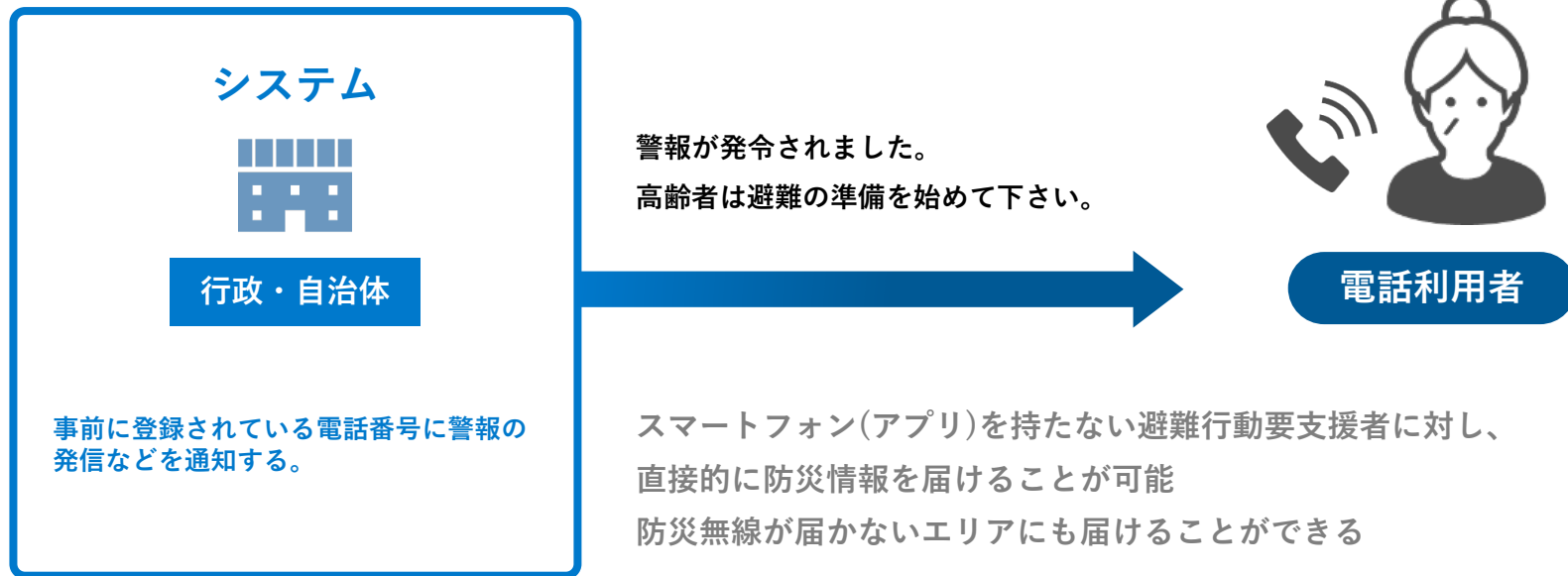


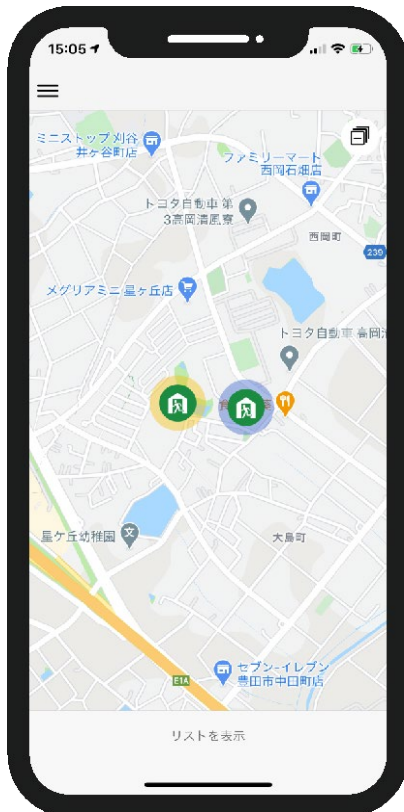
災害時

- L-ALERTからの情報
(例) 岐阜県美濃地方 大雨警報



システムを利用して事前に登録されている電話番号に対して電話を利用して警報発令などを音声で伝えることができる。

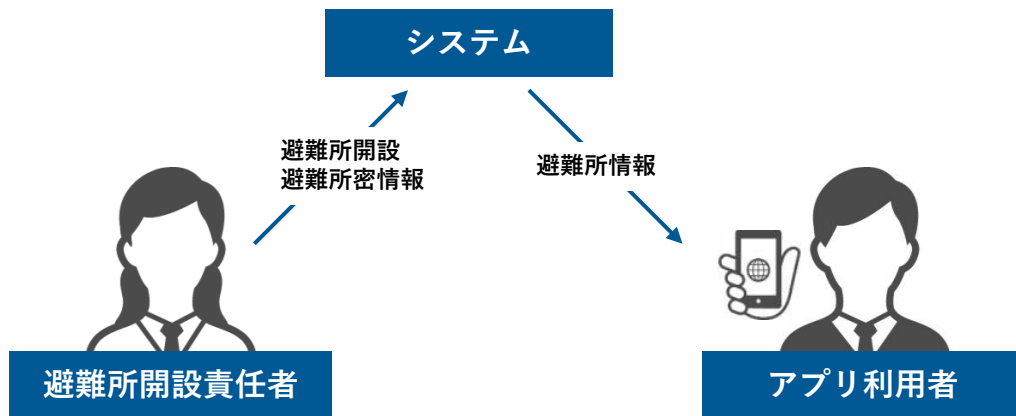




避難所の情報確認

- 避難所の開設状況、確認
- 避難所の密状況の更新、確認

※避難所の状況をリアルタイムで確認出来る



宿泊施設等を臨時避難所として開放するとリアルタイムで確認できる



事前登録制

新型コロナウイルス感染症対策としての災害時の避難所としての ホテル・旅館等の活用に向けた準備について
<内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当）>

コロナ渦における避難所拡大の流れの中で、宿泊施設等を避難所として利用する提携準備が進んでおります。
しかし、一般の人はそういった緊急避難所の情報を即時に収集する方法がありません。
支援側もその日の宿泊状況などに応じて変更させる必要もあります。

★支援法人側は、空き室に応じて提供可能な避難室数をアプリから登録できるようにすることで、
避難者はアプリでそれを確認し、緊急避難所としてホテルなどへの避難を行うことが出来る。

施設管理者のHELP発信で周辺の移動サポーターに支援要請することが可能

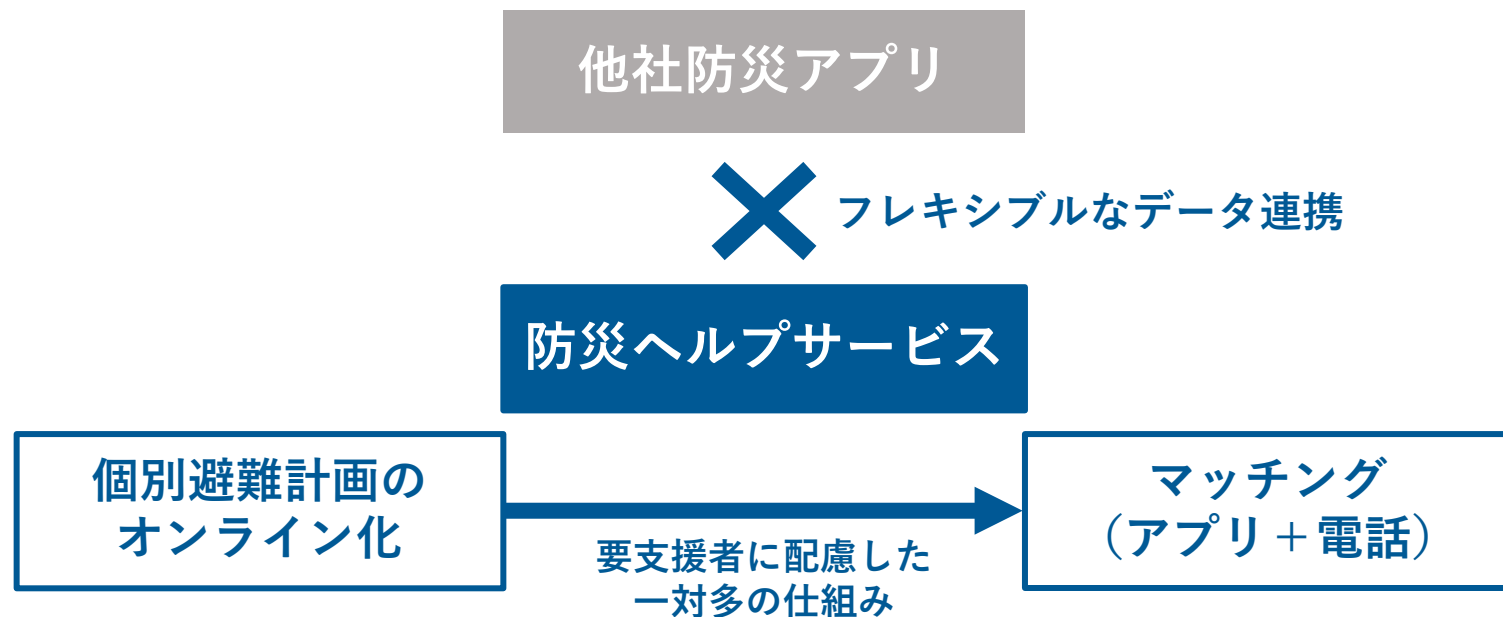
ユースケース

水害が発生し、老人ホームの1Fが浸水する可能性がある場合、1Fの入居者を垂直避難させるために周辺の支援者を募ることができる。



サポートに向かう意思表示

防災ヘルプサービスの最大の特徴は
個別避難計画のオンライン化とその情報を土台としたマッチングシステムです。
また、既に導入済みの防災アプリとの連携も可能です。



市区町村単位でのご契約の場合(避難行動要支援者上限1万人)

防災ヘルプサービス利用料金

導入費

860万円

保守費

228万円

備考

更新料が発生

月額支払可：19万円（最低利用期間1年／税抜）

※別途通信料はご負担いただきます。

■以下システム保守対応を含む（※ユーザーからの一次窓口は自治体様にてご対応いただきます。）

- ・サーバ管理・運用/不具合対応（24時間365日対応）
- ・問合せメール対応(アプリ内)
- ・技術サポート対応

市区町村単位でのご契約の場合(避難行動要支援者上限1万人)

防災ヘルプサービス利用料金

1年契約

420万円

3年契約

1,200万円
(▲60万円)

5年契約

2,000万円
(▲100万円)

月額換算：35万円（最低利用期間1年／税抜）

※別途通信料はご負担いただきます。

■以下システム保守対応を含む（※ユーザーからの一次窓口は自治体様にてご対応いただきます。）

- ・サーバ管理・運用/不具合対応（24時間365日対応）
- ・問合せメール対応(アプリ内)
- ・技術サポート対応

実証実験

2020年 12月 愛知県豊田市内の2自治区にて敢行

自治区の役員約20名ほどを対象に其々の役に分かれ実際に避難所に到着するまでの過程を体験。

2021年 5月 名古屋市南区柴田学区にて敢行【1弾】

豊田市とほぼ同様の過程(+車いす利用)を体験。

同年10月 上記学区にて長期の敢行【2弾】

10月~翌年2月までという長期実証実験を行う
実際のデータを使い避難訓練等で住民に活用してもらう

2022年 現在 広島県と静岡県の実地にて敢行中

約半年かけて個別避難計画の作成や避難訓練を通して導入後の運用実施計画を検討中

2023年中予定 名古屋市にて導入を想定

目下、大規模開発中

メディア掲載

弊社HP/豊田市HPプレスリリース

愛知テレビ

朝日新聞(地元紙)

日刊工業新聞

日本経済新聞(電子版8/30,朝刊紙面9/1)

自治体通信 紙面(2022年9月号)

パソナグループHP(サービス一覧)

その他多数

appendix

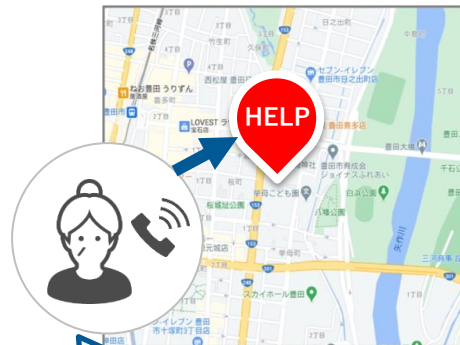


要支援者
(避難行動要支援者)

< 提供されるサービス >

「電話」 or/and 「専用システム」 から避難サポートを簡単要請
⇒ サポートが受けられる。

※ 副次的効果：意識上での避難のハードルを下げることに繋がる



避難サポート要請方法

- 「電話」で要請する（スマートフォンを使えない方）
→ 予め決められているサービス専用ダイヤルに電話をかけ、
番号入力などを行う事で助けを呼ぶことが出来る。
- スマートフォンアプリから避難サポート要請
→ 専用アプリからで助けを呼ぶことが出来る。（GPSで位置情報の更新も可能）

< 避難サポート要請 >

豊田市西町3丁目 ●●
田中さん/70代女性（一人暮らし）
介護認定2
移動に車椅子が必要
090-XXXX-XXXX



要支援者・家族

< 事前登録内容(想定) >

- ・名前 ・年齢 ・性別 ・住所 ・電話番号
- ・介護認定情報 ・移動範囲 ・移動オプション ・避難必要人数

※移動オプションに関しては車椅子必要や、錫杖必要などの情報

事前登録制

災害発生時に、自力で避難困難である高齢者や障害者は以下情報を**事前に登録**していただく。
登録は役所等で紙で行うことができる他、**Web・アプリから登録**できるようにする。
(本人が出来ない場合は、その家族や介助者が代行登録することも可能とする)

※随時介助状況が変更することが考えられるため、本人または家族、介護者が内容を更新し最新情報を保つデータ登録の必要性検討中。その場合、系統的に暫く更新がない人には内容の確認の働きかけ等を行う。

※専門介護・新感染症対策として、**MY避難所の登録**も可能とする

自身が避難先として認める場所がある方は事前にその場所を登録 ※親戚・知人宅・病院・介護施設など
⇒一般的な避難所の他にMY避難場所がアプリ内地図にアップされる。



移動サポーター

<支援方法>

避難意思を示した「要支援者」が近くにいる場合、登録サポーターに通知が届く。届き次第、サポート意思をアプリ上で示し、各移動手段(徒歩/車など)で救助に向う。合流後、アプリ内に表示される避難所まで移動支援を行う。

アプリ利用の流れ (サポーター側)

(要支援者が電話でコールする⇒避難サポーターのアプリへ通知)

- ①通知をタップorアプリを開くと、事前登録されている要支援者の現在地がアップされる ⇒ステータス：サポート必要/赤
 - ②現在地をタップすると、要支援者の情報等と「サポートに向かう」タップが現れる。
 - ③サポートしに行く場合、「サポートに向かう」をタップする ⇒ステータス：サポート急行中/黄色
 - ④要支援者との合流した場合、「サポート避難中」タップを押す ⇒ステータス：サポート避難中/緑
 - ⑤要支援者を避難所まで誘導できた場合、「完了」タップを押す ⇒ステータス：サポート完了/青
- ※一定期間サポートがで出来ない場合や、「中断」をタップした場合 ⇒ステータス：サポート必要/赤に戻る

★救助移動中の位置情報は、情報がアップされ他の支援者やシステム管理者(行政)が確認可能

★要支援者側がアプリで避難要請した場合は、こちらでも確認できるようにすることは技術上可能



移動サポーター

<移動サポーター範囲(想定)>

- ・地域の自主防災組織・民生委員・NPO法人(地域コミュニティ)
- ・地域の移動事業者(バス・タクシー事業者)・老人ホーム・デイサービス業者
- ・学生・ボランティア
- ・幼稚園送迎バス・教職員・郵便・宅配業者 etc..

サポーター/事前登録制

<前提>

トラブル防止/安全性の観点から、**特定多数の人が利用できる仕組み**とする。

地域の災害時にご自身で避難出来ない方の移動支援を行う意思のある、事業者や個人を事前に募集(または認定)し、登録してもらいます。

また、サポーター自身には、事前に支援可能な地域範囲を時間帯別に設定していただきます。

(時間帯別：生活範囲が昼夜で異なる方もいるため)

その設定範囲の中で、現在の位置情報と照らし合わせ、「サポート依頼」を受け取ります。

※Android・iOSのスマートフォンのアプリを入れてもらい登録を行い、認証を行う流れを想定している。

パソナは、パソナグループの一員として
パソナグループの企業理念「社会の問題点を解決する」に則り、
テクノロジー分野に特化して事業を展開しています。

Humanware changes the world



社会の問題点



IT (ICT)

安全 (防災)

雇用問題

高齢化社会

働き方改革推進

障がい者雇用推進

地方創生

会社名	株式会社パソナ
創業	1976年2月16日
設立	1988年4月14日
資本金	1億円
代表者	代表取締役会長 CEO 南部 靖之 代表取締役社長 COO 中尾 慎太郎
所在地	PASONA SQUARE 〒107-8352 東京都港区南青山 3-1-30

グループ事業内容

- エキスパートサービス(人材派遣)
- BPOサービス(委託・請負)
- HRコンサルティング
- 教育・研修
- グローバルソーシング(海外人材サービス)
- キャリアソリューション(人材紹介、キャリア支援)
- アウトソーシング
- ライフソリューション
- 地方創生ソリューション

お問い合わせ先

株式会社パソナ

Tel : 03-6734-1005

Mail : contact_tech@pasona.co.jp

